

令和元年度(2019年度)第6回三者懇談会(藤白台保育園)

- 1 開催日時 令和元年6月8日(土) 午後0時35分～午後2時
- 2 開催場所 藤白台保育園 遊戯室
- 3 出席者 藤白台保育園保護者会副会長2名、渉外担当4名、その他保護者28名
社会福祉法人耕心会(耕心会理事長、耕心会事務長、藤白台保育園長、
その他藤白台保育園職員16名)
吹田市児童部保育幼稚園室職員(保育幼稚園室長、保育幼稚園室参事、
保育幼稚園室主幹、保育幼稚園室主任、保育幼稚園室係員、垂水保育園
保育士、いずみ保育園保育士、吹六保育園保育士)
- 4 議題 1 引継ぎ保育について
2 質疑応答
- 5 議事要旨

1 開会

吹田市： ただいまから第6回三者懇談会を開会いたします。はじめに資料の確認をさせていただきます。

(資料の確認)

2 出席者紹介

吹田市： 三者懇談会の出席者の皆様について御紹介させていただきます。

(出席者紹介)

3 引継ぎ保育について

吹田市： 藤白台保育園は、本年4月に社会福祉法人耕心会に移管されました。保育内容等の引継ぎ状況を確認するため、現在引継ぎ保育を実施しているところです。

本日は、引継ぎ保育の担当保育士が参加しておりますので、引継ぎ保育の状況について御報告を行います。

吹田市： (飯澤保育士) 私は引継ぎ保育で幼児クラスを中心に関わらせてもらっています。4月当初は新入園児が多く、進級の子供たちもちょっと不安な姿が見られた3

歳児クラスに2週間ほど入りました。その後は、4歳児クラスと5歳児クラスに1週間ずつ入りました。5月の初め頃は、どろんこ遊びがスタートして、2歳児クラスにも入りました。

保育に入る中で、耕心会の先生方の保育に関する質問に答えたり、生活面で以前と変わったところをこちらから質問したり、助言をさせてもらいました。これまでは子供たちのサポートを中心にしてきましたが、今はどのクラスの先生も子供たちとの関係がついてきて自分の保育をされているので、見守っています。

全体では、当番保育の様子の確認や助言、行事の実行委員会、昼の職員会議にも同席して、質問にお答えするなどさせてもらっています。安全面では、特に気になったことを、その都度声かけさせてもらいました。今後も精一杯サポートしていきたいと思いますので、よろしくお願いします。

吹田市：（岩永保育士）私は主に0歳児クラスから2歳児クラスの乳児を中心に入らせてもらいました。4月の初めは0歳児が初めての保育園ということで泣いてしまう姿もあったので、保育園に少しずつ慣れていくために担任の先生方と相談して保育をしていきました。これまでに0歳児保育で大切にしたことやどんなことがあったかなどを伝えました。日々、保育を行うことで段々子供たちも保育園に慣れて生活リズムがつき、今では担任の先生方のことを大好きになってきているなあと思います。

1歳児クラスと2歳児クラスにも入って、子供たちの姿から、これからどういうことを工夫していったらいいのか、どの時期にどんな遊びをしていったら子供たちが楽しめるかということなどを伝えてきました。子供たちが安心して楽しく保育園で過ごせるように担任の先生方と一緒に考えて保育してきました。

どのクラスの保育も担任の先生方がいろいろと工夫されているので、子供たちが先生やお友達と楽しく過ごしている姿が見られます。今後も担任の先生方と引継ぎ職員が相談して、子供たちが安心安全に保育園生活を送れるようにしていきたいと思います。

吹田市：（河村保育士）私は4月の最初の頃、1歳児クラスを中心に入りました。新入園児が多く、子供たちも新しい環境に戸惑って泣いたりする姿もありましたが、1か月過ぎた頃には、段々と子供たちが保育園に慣れてきたので、今は0歳児や2歳児クラスにも入らせてもらっています。耕心会の先生方と一緒に保育をして、

一日の生活の流れや保育士同士の連携など大切なことをお伝えしました。あとは気づいたことや疑問に思ったことを伝えさせてもらったり、耕心会の先生方の質問に答えたりして、引継ぎを行ってきました。

また、遅出勤務をして夕方に保護者の方とお話する機会を設けて、お子さんの様子を伝えたりしました。子供たちと耕心会の先生方の関係がついてきたので、見守りながら随所でサポートできることを今後もしていきたいと考えています。安全第一に子供が笑顔で、日々過ごせるように私も協力できたらと思っていますので、今後ともよろしくをお願いします。

吹田市： では、続いて社会福祉法人耕心会を代表して大塚園長から、移管を受けてからの報告をいただきたいと思います。

耕心会： （大塚園長）私からは、保育体制についての報告をさせていただきます。

まず4月からの保育体制について、常勤の保育士が23名、非常勤保育士が19名、看護師が1名、調理員が6名、安全管理員が2名、計51名の体制でスタートさせていただきました。このうち、前年度から保育のパートやアルバイト、それから調理員も含めて、継続して勤務している職員が23名です。

保育内容については、塩谷と伊藤からお伝えします。

耕心会： （塩谷主任保育士）今年度始まってすぐ、乳児クラスでは新入園児がならし保育期間中であったため、保護者の方は仕事前に心落ち着かなかったと思いますが、少しずつ保育生活の流れがわかるようになってきたのではないかと思います。子供たちも徐々に不安がなくなり、朝泣かないでバイバイができるようになりました。

5歳児クラスでは、絞り染めのこいのぼりと2,000枚程のうろこがあるこいのぼりの製作で、クラス全体が一丸となり取り組んでいる姿がとても印象的でした。

4歳児クラスでは、リズムや歌やごっこ遊びが大好きで、天気の良い日には子供たちが進んで近くの公園などへ散歩に出かけていました。

3歳児クラスでは、幼児クラスに仲間入りということで、元気いっぱい張り切って、今までよりも、お兄さん・お姉さんになった喜びをかみしめているような、そんな表情をいつも見せてくれています。

2歳児クラスでは、これまで1階だったお部屋から2階のお部屋にお引越ししました。初めは階段をゆっくり一段一段上がっていましたが、段々と階段を安全

に移動できるようになってきたと思います。

1歳児クラスでは、今まで一番赤ちゃんだった子供たちが少しお兄さん・お姉さんになったような気がします。そして、0歳児クラスの子供たちのところに行くと、優しくおもちゃを貸してあげる姿や、手をつないでエスコートする姿などが見られ、とても微笑ましく思っています。また、手作りの人形に名前をつけて、抱っこしたり、おんぶしたりする様子などが多くなってきて、嬉しく思っています。

0歳児クラスは、出産後すぐに保育園生活になり、また保護者の皆様もすぐに仕事復帰ということで日々、育児や仕事、離乳食づくりなども大変だと思います。0歳児クラスの子供たちは、他のクラスの子供たちに可愛がられ、人気者になっています。

連休前はこどもの日の集いで、保育園全体がにぎやかでした。連休明け以降は子供たちがどろんこ遊びに夢中になって、大きな山やその周りの川、泥田などを作り、その後、どろんこフェスティバルへ展開していきました。地域の子供たちも裸足になって泥の感触を足や手で味わって楽しんでいました。

日々の生活、活動の中で保育士と子供たちの信頼関係が少しずつ培われているという気がします。保護者の方々にお子様のことをたくさんお話しさせていただき、安心してもらえるように職員一同、心を合わせて努めてまいりたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

耕心会：（伊藤保育士）私からは子供たちの様子と行事の引継ぎについてお話をさせていただきます。私は昨年度1年間、合同保育の職員として乳児・幼児クラスに入り、今年4月からの職員に子供たちの姿や保育の引継ぎをしております。

まず、4月は乳児クラスを中心に入りました。合同保育の時に乳児の子供たちと一緒に遊んでいたこともあり、4月の時点では担任よりも私の方が顔なじみでした。しかし、この2か月間で担任が子供たちと向き合って保育しているので、担任に飛びついたりする様子が最近すごく見られるようになり、担任と子供たちの関係がついてきているなと感じております。

行事では、どろんこフェスティバルを昨年と同じように引き継いでおりますが、これまでやってきたから引き継ぐというわけではなく、子供たちの作りたいという思いを担任が引き出して取り組んでいます。昨年度、合同保育の中で3歳児クラスと4歳児クラスで自分たちのクラスの山を作りました。子供たちの中で去年

のクラスが作った山を自分たちも同じように作りたいという思いがあり、先生方は子供たちの思いを引き出して保育をしていました。今年度も、去年度のりんご組が作っていた山を、今年度のりんご組の子供たちが作りたいという気持ちを担任が汲みとって、山を作っていたというように様子を見て感じました。保育で大事にしていることを引き継ぎ、今年度も同じ形でどろんこフェスティバルを迎えられたかなと思っています。

行事の中で大事にしていることは、行事の会議の中で引継ぎ保育の先生方にも入っていただき、一緒に職員に伝えております。また、子供たちの姿を共有して、クラス運営も一緒に行っております。これからプールなどの楽しい遊びがどんどん始まります。遊びの中で子供たちの様子などを担任がしっかり捉えて、子供たちとの関係を築き、クラスを育てていって欲しいですし、育てていけるようにこちらでも指導していきたいと思っております。

4 質疑応答

吹田市： 先日、保護者会で民営化から1か月が経ち、保護者の方にアンケートを実施され、結果をまとめられました。アンケートをもとに質問された内容がありましたので、耕心会から回答いただきたいと思っております。

(耕心会から回答)

耕心会： (大塚園長) この度は貴重な御意見をたくさんいただきまして、ありがとうございました。4月に移管を受けてから2か月が経ちました。まず、子供たちが毎日楽しく通ってくれること、保護者の方が安心して子供を預けていただくことを第一に職員一同で取り組んでまいりました。

民営化移管ということで、通常の新規開園とは違う責任の重さや緊張感を感じながらも一人ひとりの職員が子供たちの日々の保育に一生懸命取り組んでまいりました。しかしながら、まだまだ未熟な部分があり、保護者の方に御不安を抱かせてしまった部分があったことについては、しっかりと受け止めて、今後改善していきたいと思っております。

今回、保護者の皆様から頂戴した御意見については、職員一同で話し合いを行い、真摯に受け止めました。また、前向きに改善していけるように話し合いも行っています。そして、私たちだけではなく、引継ぎの先生方にも相談に乗って

ただき、アドバイスを頂戴しながら取り組んでいきたいと思っています。この2か月で各クラス、子供たちと保育士の関係が少しずつできているかなと感じています。さらに、子供たちとのよい関係を作るために保育園でどんなことができるかということ、職員で考えていきたいと思っています。それとともに、今後は保護者の方とも信頼関係を築いていくことが大切になってくると思います。まだまだ未熟な点があると思いますが、いろいろお話をして保護者の皆様とのよい関係を作って、よりよい園にしていきたいと思っていますので、これからもよろしく願いいたします。

吹田市： 保護者の方からの御意見や御質問をお伺いしたいと思います。

保護者： （保護者会副会長）本日は会長が欠席のため、代読させていただきたいと思います。『この度は三者懇談会の場を設けていただきありがとうございます。民営化して2か月、耕心会の先生方にはプレッシャーもあったかと思います。その中でも、できるだけ公立の保育内容を引き継ぐよう保育をしてくださって感謝しております。引継ぎ職員の先生方におかれましても新しい園でのお仕事もある中、藤白台保育園のために尽力いただきありがたく思っております。』

今回、保護者会アンケートに対し、回答いただきました。これに対して、保護者から質問させていただきます。

保護者： 朝夕の職員配置について質問があります。夕方のパートの先生と正規職員の先生の配置人数はわかりましたが、朝のパートの先生や正規職員の先生の人数がわからないところがありますので、朝の人数配置を教えてくださいと思います。

あと、夕方の保育時間に正規職員の先生が昨年度よりも増えているように見えますが、日中の正規職員の先生の人数は今までと変わらないか知りたいです。

耕心会： 朝の人数配置については後日資料を作成して、保護者の皆様にお伝えします。

日中の人数配置については今までと変わらないようにしております。今までパートの先生は朝と夕方に出勤をして、朝の勤務は9時に終えることが多かったのですが、朝だけの勤務に変更して勤務時間を長くする人が増えました。そのため、パートの先生の多くが9時45分や10時30分に終わり、別の職員が9時30分や10時に出勤するようになりました。もし、わかりにくければ表を作成して、説

明させていただきます。

保護者： 連絡ノートについてお願いがあります。子供が0歳の低月齢でまだ話せないため、どのように日中を過ごしていたか具体的に書いてもらいたいです。今の連絡ノートは〇〇遊びをしましたなどと書いてありますが、こんな遊びが好きでしたなどと書いていただくと、家でその遊びを取り入れたりできます。また、給食も「完」と書いてあるだけです。何の食べ物が好きだったのか書いてもらえたら参考になります。

子供の姿は園と家で違うと思うので、もう少し具体的に一日どういうふうに過ごしているのかを書いていただけたらありがたいです。お願いします。

耕心会： 初めて保育園生活を過ごすお子さんも多く、保護者の皆様もお仕事されている間、お子さんが保育所でどのように過ごしているのか気になることだと思います。今後、具体的なことを書くように指導してまいりますので、よろしく願いいたします。

保護者： 2点質問があります。まず1つ目は連絡ノートについてです。今までは、毎日一言でも書いてくださる先生が多かったのですが、今は、少し違うため、先生の考えで連絡帳を運用されていくものなのか、園として連絡帳の運用を考えているのか教えてください。保護者の意見としてはやっぱり一言でも書いていただければ、嬉しいなと思っております。

2つ目は運動会の日程についてです。アンケートの質問に対する回答の中で土曜日開催を希望する声が少なかったと書かれていますが、これはいつのどういう声なのか知りたいです。独自で何か調べられた結果なのか、公立の先生から聞いていることなのかを教えてくださいたいなと思っています。

耕心会： 連絡ノートについては、毎日書いていただいている保護者の方もいますので、園としてもすべての方に返したいという思いはあります。ただ、書き馴れないため、非常に時間がかかってしまい、全然書けない日があります。今のところ、週に何日かは必ず書いていこうと決めています。以前は毎日書いてもらっていたということでしたら、公立の先生や職員とも相談してどのような形でお伝えしていくかを考えていきたいと思っております。

運動会の日程について、回答文章の表現がわかりづらく申し訳ないです。前の園長にお聞きして、保護者から土曜日にしてくださいという要望を特に受けたことがないと聞きました。

吹田市：（山本元園長）保護者の方から土曜日に開催して欲しいと言われたことはなかったですし、私の前の園長からもほとんど言われなかったと聞いております。ただ、要望が出た場合には、検討も必要だと思っていました。昨年度、連絡帳に書いてこられた保護者の方はおられましたが、全体の要望として対応するまでは至ってなかったです。

耕心会： こういった経緯をお聞きして、今年度は耕心会としては移管初年度ですので、これまで公立で開催していたように平日に行わせていただきます。来年度以降は土曜日の方がいいという御意見が多ければ、保護者会さんと相談、もしくは三者懇談会の場で検討していきたいと考えております。

保護者： 夕方のお迎えの時に、時間を書くことについてですが、現在棚の付近にボードを置いていただいておりますが、今の場所だと子供の遊び場に入りこんで書くことになるので、配置の場所を考えていただければありがたいです。

耕心会： 時間を書いてもらう場所に関しては、保護者の方にアンケートをして変更させていただければと思いますのでよろしくお願いいたします。

保護者： 2点あって、1つ目は子供の荷物確認のお願いになります。夕方、18時頃になると子供たちがとまと・みかん組に移動するため、帰る準備をして、荷物も一緒に持っていきます。時々、子供が日中に着替えた服を入れ忘れることがあるので、移動する前に子供の収納箱を先生方が確認していただき、忘れ物がある場合、子供に声をかけていただけるとありがたいです。

2つ目は朝の当番時間についてです。先生方が安全面に気を配るあまり、子供たちと一緒に遊ぼうということがあまり感じられないことがあります。まだ、慣れていないこともあり、いずれ解消されると思いますが、子供たちだけで遊ぶことが苦手な子もいるので、先生も一緒に遊んでもらえると子供も遊びに入りやすくなると思いますので、よろしくお願いいたします。

耕心会： 4歳児でも、まだまだ荷物を忘れることがありますので、保育士が確認して、忘れ物がある場合、声かけさせていただきます。習慣づけしていくことが大事だと思っています。

朝の遊びについては、慣れていないこともありますが、クラスの活動が始まる前に自分で遊びたいことを子供たちに見つけてもらえるように、見守る姿勢でいたことが多かったです。指摘いただいたように遊び方を自分で見つけられない子供もいますので、保育士が誘って遊ぶことで一緒に遊ぶ面白さを知り、そこから集団で遊ぶということに広げていきたいと思っています。朝夕の遊びについては、もう一度検討していきたいと思っています。

保護者： 私からは子供の主体性について聞きたいです。4月からの保育を写真などで見たりして、子供が綺麗に並ぶということはすごく上手になったと思います。耕心会では、そのあたりを大事にされていると思います。一方で、私たちは今まで公立保育所で大切にしてきた子供の主体性をすごくいいことだと思っているので、引継ぎ保育で公立から来ている先生方はそのあたりの差を感じておられるのか、聞かせていただきたいです。

保育所で行儀や並ぶということができていると小学校に行ったときに差が出るので、大事にしてほしいとは思いますが、子供の主体性を下げてほしくないという思いもあります。

吹田市： （飯澤保育士）私は、移管前に藤白台保育園で3歳児クラスから5歳児クラスの保育に入らせていただいて、特に生活面で子供たちに自分で考えて動くという主体性を大切にしてきたと思います。

4月からの保育の様子も見させていただいて、公立の時と同じように子供が自分で布団を引いたりする姿もありましたが、大人の手でやってしまっているようなところもあるかなあと思いました。ただ、慣れないし混乱する時期でもありますので、これから子供の姿を見て、子供の主体性を大事にした保育に変えていかれると思っています。

耕心会： 綺麗に並ぶことは、先生の声かけに子供たちがすぐに集まり整列して、人数を確認して避難できるようにという安全のために考えています。先生が言うから集

まるのではなく、子供たちにとって楽しい遊びを提供してくれる先生のところに集まりたいという気持ちを持たせることを大事にしております。

子供たちの主体性は大事に思っていますが、保育士として子供たちに大事なことを教えていくことも必要だと思っていて、今はその時期だと思っています。子供たちの中で大事なことなどがわかってきた段階で、今度は子供たちが自分で考えて行動できるように保育を行っていかうと思っています。

これまで耕心会では、子供たちに自分で考えて行動することを大事にしてきましたので、この時期だからということで理解いただければと思います。

保護者： 民営化されて2か月が経ち、先生方を見ていて、若いがゆえに経験が足りないのかなと不安に思いました。ただ、私なりに調べていくうちに国の施策や補助金、お給料などのことが絡んでおり、しょうがないのかなと思っていますので、是非これから経験を積んでいい保育士になって欲しいです。

あと保育幼稚園室をお願いします。市で民営化を進めてきて、一番の問題は子供の安全がどうなっていくかということです。保育士は経験が必要な職業なのに経験の浅い若い方たちに託さなければいけなくなったことに不安や不満を持つ保護者がいるということを中心に留めておいていただきたいと思います。

吹田市： 貴重な御意見ありがとうございます。2か月经っているいろんな思いがあって、今日に至っていると思います。私どももそういった御不安や御心配にできる限り応えるため、耕心会には2年前から藤白台保育園の様子を知っていただき、1年間合同保育を行ってもらいました。本来4月からの1年間の合同保育職員は園長予定者を含めて3名というところを、耕心会には、4名来ていただき、手厚く対応してもらいました。

民営化につきましては、待機児童対策としてこれから保育所を増やしていくなどの子供の施策を充実していくために、市の予算を効率的に回す努力をしないといけないことがあって、公立保育所を少なくした経過がございます。民営化によって、1年間でどれだけの費用が減ったかということは、まだ決算が終わっていないので、お伝えすることはできませんが、1年間で2億円を超える児童部の予算を子供の施策のために増額しています。また検証して、お伝えしていきたいと思っています。

昨年度民営化された南保育園では年度末に保護者の皆さんにアンケートをさせ

ていただきました。藤白台保育園でも、1年間耕心会の保育を見ていただいて、どうだったかという御意見を年度末にアンケートさせていただく予定になっていますので御協力よろしくをお願いします。

保護者： 私の個人的な意見ですが、せっかく民営化になったので、民営化だからこそできることを進めていただければと思っています。アンケートの意見でありましたが、写真販売がインターネットで購入できるようになり、かなり効率化されて、先生たちの手間が減ったり、保護者も結構買いやすくなったり、すごくいい面があったと感じております。他にも先生の作業や手間を減らすことのできる合理化やシステム化などできることはしていただきたいです。そして、子供たちに向き合う時間をもっと増やしてもらえたらと思っています。

耕心会： 今回アンケートをいただいて、私たちが藤白台保育園を引き継いでいくにあたって、また、藤白台保育園らしさを作り上げるためには、私たち職員、保護者、子供たち、吹田市など皆さんの力で作り上げていくことが大切だと思っています。これから私たちも民間ならではの提案をしていきたいと思っています。保育士の経験不足につきましては、時間のかかることではありますが、しっかり公立の先生方の意見などをいただき、経験を積んで、皆さんの期待に応えたいと思っています。

おっしゃっていただいた合理化やシステム化につきましては、まず提案させていただき、保護者の皆さんに理解いただければと思いますので、よろしくお願いします。

保護者： 園外保育についてお聞きします。先日からニュースなどで、交差点で信号待ちしているところに車が突っ込んできた事故や通り魔事件などが伝えられました。そういったことを踏まえて吹田市や耕心会はどのように安全対策を考えているのかをお聞きしたいです。

あと園外保育で〇〇公園に行く時に、例えば、ガードレールがあるところを通っているなど経路を保護者に公開していただければと思います。私たちも経路を確認できれば、こういった行き方のほうが安全ですといったディスカッションができますので、園外保育する時の経路を見せてほしいと思います。

吹田市： 公立保育所では全園、お散歩マップやハザードマップを以前から作成しており

ます。また、様々な事件もありましたので、再度、各園に見直しをかけている状況です。散歩する経路を職員で必ず調べておりますし、見直ししている中で、地域の方ともお話をする機会を設けて、通らない方がいい道などを教えていただき、各園でマップを作成しております。警察に確認している園もあります。

各クラスには職員配置基準があって、その基準を下回って散歩に出ることはありません。ましてや低年齢で、職員配置基準の人数だけでは心配な場合などには園長や園長代理、看護師などが一緒に付き添って散歩しております。散歩する前には園で散歩ノートというものがありまして、行く時間帯を書くことになっております。また、散歩に行く前に園長、園長代理など事務室にいる職員に帰る時間を伝えるなど、声かけをしております。園が知らないということは絶対にないようしております。

耕心会： 現在、藤白台保育園での散歩に関しましては、昨年度から引き継いだお散歩マップを活用させていただいています。それをもとに、この前の大津の事故を受けて、もう一度歩いて確認しております。信号を待つ歩道にガードレールがない場合、車に突っ込まれたらどうしようもできないため、待機場所を少し道路から離れたところで待機するなどの対応をしております。

それとともに今不審者なども多いので、笛の携帯をしております。もう1つ考えているのが防犯ブザーを持って、散歩に行くことも大事なと考えております。

散歩に行く時は各クラスの配置基準の職員数に加え、増員しております。その中の1名は、周りの気配などにアンテナを張って、おかしいなと思うことに対して気づけるように思っております。先日、特に何も問題なかったのですが、園庭遊びの際に保育士が、「向こうからずっとこっちを見ている人がいるんですけども、大丈夫ですか」と私に知らせてくれましたので、他の職員にも声かけしました。結果、近所の方だったので何事でもありませんでしたが、そういったちょっとしたことで、いつもと様子が違うなということに気づけることが大事なと思っております。

私たちはまだここに来たばかりで、ここの道は車が多くて危ないとかわからないところがたくさんありますので、保護者の方にも御意見いただければと思います。また、地域の方などにもお願いして、御協力いただけたらと思います。

吹田市： （山本元園長）最後に報告させていただきます。民営化してから2か月が経ち、

私もクラスに入って、子供たちや保育の様子を見させてもらっています。耕心会の先生方は子供たちのことをすごく大事に保育してくださっていると思います。保育のことや子供たちのことを事務室などで楽しそうに話されたり、反省されたりしています。そういった姿を見ると私たち引継ぎ職員も耕心会の先生たちを心から応援しようと思えます。

この2か月の間で子供たちが意外と早く耕心会の保育に慣れてくれたなあと思っています。子供たちがクラス担任の先生のことを大好きになって、関係がついてきたのがわかります。耕心会が運営する藤白台保育園に子供たちが慣れて、育ってきていると思っています。もう少しサポートした方がいいと思うお子さんもいらっしゃるので、そこは私たちが今後も耕心会の先生方に寄り添っていきたいと思っています。

アンケートにまとめられた内容については、私たちも気になることを耕心会にお伝えしてきました。公立の時にも子供たちのケガなどもありましたので、保護者の方につらい思いをさせていることは、一緒だと思っています。次に同じようなことが起こらないように全員で共有していくということを、耕心会の先生方で頑張っているところではないかなと思います。

今回のアンケートの声は、引継ぎ保育の期間になりますので、私たちの責任でもあると思います。クラスに入っている引継ぎ職員は6月末と9月末で終わりますが、園運営や行事のことなどは私が1年間引継ぎしていきます。今後も保護者の方に安心してもらえるようにしっかり引継ぎしていきます。

耕心会が行うことですごいなと思うところはいっぱいあります。教材を揃えていることや発想力を豊かにするために最新のものを用意されているなど、民間の良さがあると改めて思いますので、今後もしていただければと思います。

あと、耕心会の先生方でいろんなことを共有して、子供たちをしっかりと育てていくということを私たちも引き続きサポートしていければと思います。保護者の皆さんの中で御心配なことがあれば、私たちにも伝えていただけたら、対応してよりよくなっていくと思いますのでよろしく願いいたします。

5 閉会

吹田市： 御質問がないようですので、本日はこれで三者懇談会を終了いたします。次回の三者懇談会につきましては、耕心会や保護者代表である保護者会長様と調整させていただきます。本日は、御参加いただき、ありがとうございました。